

商の達人

80

真鶴町商工会
有限会社竹林石材店

代表取締役 竹林 智大さん

◆一気通貫
足柄下郡真鶴町でこの地が産地となる本小松石を主に扱う石材店。40年前、多くの石材関係の事業者が地域で商売をしていましたが、近年は、半分の程度の事業者数となっています。職人の高齢化や高額な機械の導入などの理由か

空間デザインの商材に新分野展開し、
本小松石の魅力を再発掘する真鶴町商工会
有限会社竹林石材店

ものづくり補助金

◆本小松石の魅力
本小松石は、箱根の噴火によってできた輝石安山岩で、古くは、奈良時代のお墓に使用されていたことがわかっています。石の性質は、緻密で耐久性、耐火性に富んでおり、磨かれた石には、灰色・緑色・赤褐色などの色調があるのも特徴の一つです。石の仕上げ方法によって表情が大きく異なるため、墓石や土木資材などに加工を行っていましたが、近年建材や家具デザイン、ランドスケープ等の用途に使用できる石材として再評価されています。

ワンストップで事業を手がけるのは難しく、「碎石」「加工」「販売」「施工」それぞれを分業するのが一般的とされる中、有限会社竹林石材店では、その全てを一気通貫で行っています。

神奈川県知事と商工会長等との懇談会



挨拶をされる黒岩知事

7月31日(水) ホテル・ザ・ノット ヨコハマ(横浜西区)で「黒岩県知事と商工会長等との懇談会」が行われました。

冒頭、関戸会長から知事が執筆した「嫌われた知事」というタイトルの書籍の紹介と、「今回、新任の各商工会長より発表をさせていただくにあたり、世界に通じる取り組みを行っている

新任の逗子市商工会長と二宮町商工会長が活動発表
黒岩県知事と商工会長等との懇談会

黒岩知事の貴重なご意見を頂きたい」との挨拶がありました。

黒岩知事は、「執筆後に振り返ってみると『当事者目線』という言葉がいかに大事なことが自分で書き留めながら強く感じた。経済が厳しい状況下で商店街や商工会事業者の目線に立った時に、何が 필요한のか、また住民の目線に立った時に何が大事なのか。そこに危機を突破していく大きなヒントが眠っていると、改めて思った」と挨拶されました。

懇談会・意見交換会では、逗子市商工会山田会長から、「創業支援の取組と課題へのチャレンジ」「コロナ禍以降の地域事業者 新規会員獲得を推進する」、二宮町商工会山本会長から、「魅力ある二宮町を目指して」と令和6年度の主な催事と地域経済活性化策」について、それぞれ発表されました。

黒岩知事からは、「逗子市の新規会員獲得をするためのヒントとして、未加入事業者の目線に立つて発想する

こと、例えば会員事業者が商工会の支援により成功した事例の話をするとかかりやすい。『目線』という言葉に徹底的にこだわって考えてみると、色々なことが見え、気づき、新たな発見がある」とアドバイスをいただきました。

また、「二宮町の『吾妻山菜の花ウォッシング』はとも有名で、まさに引き付ける力いわゆる『マグネット力』を持っている。このようなことを中心に新しい『湘南オリブ』をブランド化して立ち上げていくことは大変素晴らしいこと。『食』に関するものは大きな『マグネット力』を持っている。地域の魅力や特産品等のPRについては、是非、県のしくみを活用してほしい」とアドバイスをいただき、懇談会を終えました。



挨拶をする関戸会長

◆三代目の挑戦

コロナ前から外資系や国内大手高級ホテルの建設が増加し、空間デザイン分野の商材への問い合わせが数多くありました。大量生産が難しい石材加工業で、新しい分野に挑戦するためには、大型機械の導入が必要不可欠となります。そこで、竹林さんは「ものづくり補助金」を活用することとしました。

「時代のニーズに合わせて、事業でやりたいことが出てくる」と竹林さん。真鶴町商工会の相野谷経営指導員は、竹林さんの事業への情熱とビジョンを、ものづくり補助金をはじめ小規模事業者持続化補助金、事業再構築補助金の申請を通じて支援しています。



建材展で展示した大きな石風呂

ある補助事業では、建材展への出展を計画し、重さ2.7tもある本小松石で作った大きな石風呂を会場に搬入。実際に水を入れて展示しました。

合同要望

神奈川県中小企業経済5団体が合同要望活動を行いました
「地域経済の活性化と中小企業・小規模事業者の成長・持続的発展のための重点要望」

令和6年7月3日(水)及び同月9日(火)の両日、神奈川県商工会連合会ほか、神奈川県商工会議所連合会、神奈川県中小企業団体中央会、商連かながわ、神奈川県商店街振興組合連合会の県内中小企業経済5団体は、県内選出国会議員に対し「価格転嫁が困難な中小企業・小規模事業者に対する支援策の拡充強化及び地域経済活性化対策の積極的支援」を内容とする要望を行いました。

国内の景況は全体的に改善傾向にあるものの、中小企業・小規模事業者者にその果実は十分届いておらず、円安に伴う物価高騰や深刻な人手不足等により、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

当日は、神奈川県商工会連合会の関戸会長をはじめ、神奈川県商工会議所連合会の上野会長、神奈川県中小企業団体中央会の森会長等が出席

し、我が国経済の再生に向けて、中小企業・小規模事業者支援策の拡充強化及び地域経済の活性化対策について要望を行いました。主な項目は次のとおりです。

- 円滑な価格転嫁など公正なビジネス環境の整備促進
- 原油・原材料・物価の高騰など経済的苦境が継続する事業者への支援の拡充
- 中小企業の自己変革への挑戦支援
- 労働力確保及び人材育成に対する支援策の拡充・強化
- 都道府県単位に拘らず公共職業安定所単位の区分を設定するなど最低賃金制度の抜本的見直し
- 経営指導員の人員費確保のための地方交付税措置の拡充など商工会・商工会議所・中小企業団体中央会の体制の強化

7月3日(水)
自民党神奈川県支部連合会への要望7月9日(火)
公明党神奈川県本部への要望

《問い合わせ先》

有限会社竹林石材店

〒259-0201

神奈川県足柄下郡

真鶴町真鶴407-1

Tel 0465-68-0722



HP

トピックス
地域最大級のイベント
城山 城フェス



地元グルメ、物品の販売、フリーマーケット、キッズダンス等 その他盛りだくさん

日 時 ● 11月3日(日) 10時～15時 ※荒天中止

場 所 ● 川尻八幡宮駐車場 (相模原市緑区川尻4-1-7)

交通手段 ● 京王線・JR橋本駅より 神奈川中央交通バス「三ヶ木行き」 城山総合事務所入口下車 徒歩10分

主催・問い合わせ等 城山商工会商業振興委員会 042178213338



地域経済の発展に尽力

第77回 県民功労者表彰
内野晴雄氏受賞

(寒川町商工会前会長)

6月12日(水)、神奈川県民功労者表彰が県庁本庁舎大会議場で行われ、寒川町商工会前会長の内野晴雄氏が受賞されました。

県民功労者表彰は、公共の福祉に貢献し、その業績が特に優れた方々を広く顕彰することを目的とした県の最高表彰の一つです。

内野氏は、多年不動産取引業に携わり、ともに、寒川町商工会会長等を歴任し、商工業の活性化と地域経済の発展に優れた成果をあげると、産業の振興に尽くした功績が認められ、表彰されたものです。



黒岩知事と内野前会長

構造的な賃上げの実現及び雇用機会の確保等の要請

令和6年7月5日(金)、神奈川県商工会連合会

令和6年7月5日(金)、神奈川県商工会連合会、かながわ中小企業センターにおいて、黒岩神奈川県知事及び藤枝神奈川県労働局長から、構造的な賃上げの実現及び雇用機会の確保等の要請を受けました。当日は、関戸会長、宮越専務理事が出席し、意見交換を行いました。

要請では、生産年齢人口が減少に転じ、労働力不足の課題が顕在化する中、非正規労働者を含む構造的な賃上げの実現、新規卒業者、就職氷河期世代、若年者、障がい者、女性及び高齢者等の雇用機会の確保及び働き方改革等について更なる取組みが必要とされているとの認識が示されました。また、学校卒業時の雇用環境が厳しく、やむを得ず非正規雇用で就労したこと、正社員としての経験を十分積むことができなかった就職氷河期世代への支援要請もありました。中小・小規模事業者の皆様におかれましては、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

「人事の一元化」試行

令和6年6月・7月の県連職員の採用

県連職員の採用

神奈川県商工会連合会と県内商工会では、組織の強化や組織運営の活性化等を目的に、県内商工会職員の「人事の一元化」を試行しています。

このたび、令和6年6月1日付けで津久井商工会に下里直之経営指導員が、同年7月1日付けで二宮町商工会に藤田健作経営支援担当職員が、県連職員として採用され、同日各商工会に出向しました。

当日は、県連での辞令交付の後、宮越専務理事から激励の言葉があり、その後、早速各商工会に向かいました。お二人には、これまでの経験を生かし、ながら、中小・小規模事業者への支援業務に取り組みいただくことになり、活躍が期待されます。

今後とも、各商工会のスキル・ノウハウ等の情報の共有化により事業者支援の一層の充実を図ることを目指し、人事の一元化を着実に進めてまいります。

創業なら商工会へ 全力でサポートする返子市商工会

〇潜在ニーズを掘り起こす事前段階

〇今年8年目を迎える創業支援事業
返子市商工会は「10年先の笑顔のために、頑張る未来の企業を応援します!!」をモットーに、平成28年1月より葉山町商工会と連携して創業支援事業を開始し、今年で8年目を迎えます。

本事業では、返子・葉山地域の創業希望者・予定者を対象にオンデマンド開催とリアル開催の2つの創業スクールを実施しています。令和5年度の創業スクールでは受講者から希望者を募り、キッチンカーを貸出し、テストマーケティングを支援する走るチャレンジショップ「ドリームキッチン」を実施しています。

〇潜在ニーズを掘り起こす事前段階

〇「種まき」とは
今のところ起業を考えていない、興味はあるが行動に移していない等の潜在ニーズをもつ方にも創業支援の存在を知ってもらうため、返子市と連携して「返子創業支援カフェ」パンフレットを全戸に配布しています。パンフレットの表紙は地元の創業事業者となっており、中身をみると創業までのストーリーなど「身近な人」にスポットをあて、創業を意識していない人にも手に取ってもらえる内容にしています。合わせて商工会での創業支援施策についての情報を掲載しております。

この取り組みにより、創業したいときにいつでも見られる「種まき」と、ロール(手本となる)モデルの見える化を行っています。



返子市創業支援カフェパンフレット

〇創業支援への意気込み

栗原経営指導課長は、創業支援に「繰り返しになります、創業支援に力を入れているのは、創業前段階の潜在ニーズを顕在化させる「種まき」です。支援機関としては単年度の創業スクール受講者数また創業者数を求めている傾向になり

がちですが、受講者は何年も事業計画を練り上げて創業する方がほとんどです。創業者の中には実は、「過去に創業スクールを受けていました」といった人たちもいます。創業する前の人であればどのようなイメージの人でも何度でも商工会に相談できることを「種まき」で意識しながらPRしていくことが大切です。今後も、創業者すべてに選ばれる返子市商工会を目指し、創業支援を継続していきます」と話しました。

専門家から基礎知識を学ぶカリキュラムは様々な機関や団体で実施しています。返子市商工会の創業スクールや講習会を開催する前段階の潜在ニーズを掘り起こす「種まき」は、創業スクールへの受講者を増やすだけでなく、商工会を知るきっかけにもなり、新規加入促進にもつながる、とても特色のある取り組みです。

11月号で創業スクール受講者の生の声を掲載します。



チャレンジショップ「ドリームキッチン」

県青連 追い求めた先にある景色 優勝は角原清志(山北町)さん

県青年部連合会は、若手経営者・後継者としての資質向上と、青年部活動の活性化を目的に、7月18日(木)杜のホールはしもとで第37回主張大会・部員研修会を開催しました。

県内商工会地区を5つのブロックに分け、それぞれの予選を勝ち抜いた9名の代表者が発表を行い、角原清志さん(山北町商工会青年部)が優勝を勝ち取りました。

優勝した角原さんは、県代表として9月19日(木)長野県で開催される関東ブロック大会に出場します。

また、今年度青年部全国大会に係る顕彰候補者について「まちづくり部門」から返子市商工会青年部を県代表として関東ブロックに推薦することが決定しました。



第37回主張大会の発表者9名と柏木県青連会長

〈第37回主張大会〉(敬称略)

- 優勝 角原 清志(山北町)
- 準優勝 大谷 圭吾(返子市)
- 第3位 松井 一寿(湯河原町)
- 特別賞 敦岡 辰徳(津久井)

神奈川県信用保証協会

金融支援
創業支援
経営支援

～夢と未来に向けて～
かながわの中小企業を
応援します

カナモ

随時ご相談をお受けしています
企業支援部 TEL: 045(681)7178

県女連 神奈川県代表 羽根さんが
関東ブロック大会で主張発表

7月9日(火) 宇都宮市文化会館(栃木県)にて関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催され、神奈川県からは、総勢40名が参加しました。

二宮町商工会女性部の羽根かほるさんは、女性部活動と地域振興・まちづくり「合言葉は女性活躍日本一の町」をテーマに、異業種交流会を行って得た知見や地域振興における女性の活躍について全11名の発表者のトップバッターとして発表をしました。

最優秀賞は、長野県高森町商工会の村澤道代さんが選ばれ、10月23日(水)に開催される全国大会inみえで関東ブロックの代表として出場されます。



発表する羽根かほるさん(二宮町)

県青連 災害時の対応を考える
地域リーダー育成事業

6月27日(木)レンブラントホテル海老名にて合同研修会が開催されました。第一部は、綾瀬市消防本部消防総務課山本晋一氏に「能登半島地震救助活動について」現場の現状について講演をしていただき、第二部は、ジャイロ総合コンサルティング(株)木村正清氏に「青年部女性部の防災ネットワーク構築の方法」を考えるため、「災害が神奈川県で起こる前の備えとして、具体的にどのように取組めば効果的なのか」という内容の講演をいただきました。



災害について学ぶ青年部・女性部